

## 学術研究推進助成実績報告書(中間完了)

令和 2 年 3 月 5 日

公財岡山工学振興会  
代表理事 古賀 隆治 殿

(所属機関名) 川崎医科大学耳鼻咽喉科学

(申請者名) 原 浩貴



※研究期間に応じ、報告書の中間・完了のいずれか該当のものを○で囲ってください。

研究題目	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に及ぼす影響に関する研究	
研究期間	平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 5 日	
共同研究者	氏 名	所属機関 (職名)
	兵 行義	川崎医科大学耳鼻咽喉科学 (特任講師)
	雑賀 太郎	川崎医科大学耳鼻咽喉科学 (講師)
	瀧本 真一	川崎医科大学耳鼻咽喉科学 (講師)
	田所 宏章	川崎医科大学耳鼻咽喉科学 (臨床助教)
	前田 祐一郎	川崎医科大学耳鼻咽喉科学 (臨床助教)
研究題目についての研究発表	発表した学協会名と期日	発表した会誌等
	第 36 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 (H30. 2/22～2/24)、第 119 回日本耳鼻咽喉科学会 (H30. 5/30-6/6)、第 80 回耳鼻咽喉科臨床学会 (H30. 6/29～6/30)、第 6 回日本耳鼻咽喉科感染症エアロソロジー (H30. 9/7～9/8) 第 57 回日本鼻科学会 (H30. 9/27～9/29)、第 37 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 (H31. 2/7～2/9)、第 120 回日本耳鼻咽喉科学会 (R1. 5/8～5/11)、第 14 回日本小児耳鼻咽喉科学会 (R1. 5/235/24)、第 68 回日本アレルギー学会 (R1. 6/14～6/16)、日本睡眠学会第 44 回定期学術集会、第 7 回日本耳鼻咽喉科感染症エアロソロジー (R9. 9/5～9/6)	ENTONI 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 耳鼻咽喉科臨床 日本耳鼻咽喉科学会報 アレルギー
研究概要	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能にどのように影響し睡眠の質を変化させているのかについて、①動物モデル、②臨床研究の両面から研究を行いました。①昨年度は、局所の早期病態を解析するのに適する受動感作モデルのマウスを作製しました。今年度は、受動感作モデルマウスと全身感作モデルマウスの比較検討を行い、鼻腔内抗原曝露させ、10 分間の鼻かき、くしゃみの回数を測定し比較検討を行いました。どちらのモデルにおいても、即時相が誘発されました。②臨床研究では、昨年度に引き続き、今年度も岡山県南の小学校に就学前児童に対して睡眠に関するアンケートを行いました。このアンケート調査は、学校数を増やし、数年かけて行う予定です。現在、統計解析中です。	